

愛媛県支部

中小企業におけるリスクマネジメントに関する調査研究

東日本大震災では未曾有の災害にビジネスの基盤を根こそぎ破壊された企業も多くあるが、愛媛県でも、やがて確実にやってくると言われている「南海・東南海地震」のことを考えると、対岸の火事と言っているわけにもいかない。

本書では、まず中小企業にとって縁遠い感じのするリスクマネジメントを身近に感じてもらい、何らかの行動につなげてもらいたいと考え、「できるだけ分かりやすく」を基本に解説することとした。定義や解説でも厳密さより理解のしやすさを中心に説明し、専門的にリスクマネジメントを取り上げた本などと比較した時の意味合いの違いを恐れず、実務的な有効性を重視した。本書を契機に自社にとってのリスクマネジメントはどうあるべきか検討をすすめてもらえる契機となることをねらった。時間がなければ、まずは第2章と第3章の事例の所の参照だけでも参考になるように配慮した。

内容は5章の構成とし、リスクマネジメントの仕組みを社内に構築するにあたって具体的に参考になるように内容を工夫した。

第1章 リスクマネジメントの基本

第1章では、リスクマネジメントに関する国際規格であるISO31000：2009の分かりやすい解説をベースに、リスクマネジメントの組織的実行の基礎体系を解説し、合わせて関連知識についても実務的レベルで解説した。

第2章 中小企業におけるリスクの洗い出しと特定

中小企業が遭遇するさまざまな事業上の課題を業種毎でみて一般的に考えられるリスクの大小を考察して、表にした。表で取り上げた内容を、事業上で遭遇しそうな課題毎に具体的に考えられる事例として紹介・解説し、リスクマネジメントの必要性を肌で感じ取ってもらえるようにした。

第3章 いくつかのリスク対策

第2章でとりあげたリスクに対して、中小企業にとって実際の問題となりそうなものを取り上げ、リスク対策の考え方を示した。2章、3章は拾い読みをして自社に関係有りそうなところだけを参照できるようにと考えて構成した。

第4章 BCP的アプローチで考える中小企業のリスクマネジメント

東日本大震災以来、事業継続プラン（BCP）が取り上げられる機会が増えてきているが、中小企業庁の出している指針をもとに、四国で起こりえる地震を想定して具体的に事業継続プランを立ててみるための参考になるように、BCP構築の流れを分かりやすく解説した。

第5章 企業へのアンケート

県内の中小企業から無作為に抽出した対象200社に、リスクマネジメントに対する意識と実態に関するDMアンケートを出し、集計結果をインターネットで公表し参照していただくことをお約束して、35%というDMとしては高い回答率を得て、内容を分析した。

本書を手にとってみて、中小企業の経営者がリスクマネジメントの必要性を身近に感じ、またあまり無理なく体制を構築できることを一番の狙いとして構成し執筆した。